【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第４区分
【発行日】平成18年4月20日(2006.4.20)

【公開番号】特開2001-67788(P2001-67788A)
【公開日】平成13年3月16日(2001.3.16)
【出願番号】特願平11-246544
【国際特許分類】
Ｇ１１Ｂ　20/10　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　 3/08　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　13/42　(2006.01)
Ｇ１１Ｃ　16/02　(2006.01)
Ｈ０４Ｌ　29/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１１Ｂ　20/10　Ｄ
Ｇ０６Ｆ　 3/08　Ｈ
Ｇ０６Ｆ　13/42　３１０
Ｇ１１Ｃ　17/00　６０１Ｕ
Ｈ０４Ｌ　13/00　３０５Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成18年3月1日(2006.3.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　所定の転送プロトコルに応じて動作する駆動手段に配されたリムーバブルな記録媒体及び当該記録媒体に備えられた補助記憶手段に対する書き込み／読み出し情報を転送する際の情報転送方法において、
上記駆動手段に対して、上記補助記憶手段に記憶されている情報の読み出し機能を有効にする読出有効設定コマンドを上記所定の転送プロトコルに基づいて発行し、
上記情報記憶手段から読み出された情報を保持し、
上記保持した情報を維持したまま、上記駆動手段に対して、当該駆動手段の動作のリセットを指示するリセット指示コマンドを上記所定の転送プロトコルに基づいて発行する
ことを特徴とする情報転送方法。
【請求項２】　上記駆動手段と外部装置との間でデータの転送を行っている場合には、上記データ転送を停止させた後に、上記リセット指示コマンドを発行することを特徴とする請求項１記載の情報転送方法。
【請求項３】　上記所定の転送プロトコルはＡＴＡＰＩプロトコルであり、上記記録媒体に備えられた補助記憶手段は記録媒体カートリッジに取り付けられた不揮発メモリ（ＭＩＣ）であり、上記リセット指示コマンドはソフトウエアリセットコマンドであることを特徴とする請求項１記載の情報転送方法。
【請求項４】　所定の転送プロトコルに応じて動作する駆動手段に配されたリムーバブルな記録媒体及び当該記録媒体に備えられた補助記憶手段に対する書き込み／読み出し情報を転送する際の情報転送方法において、
上記駆動手段に対して、上記補助記憶手段に記憶されている情報の読み出し機能を有効にする読出有効設定コマンドを上記所定の転送プロトコルに基づいて発行し、
上記情報記憶手段から読み出された情報を保持し、

上記保持した情報を破棄すると共に、上記駆動手段の動作のリセットを指示するリセット指示コマンドを上記所定の転送プロトコルに基づいて発行する
ことを特徴とする情報転送方法。
【請求項５】　上記駆動手段と外部装置との間でデータの転送を行っている場合には、上記データ転送を停止させた後に、上記リセット指示コマンドを発行することを特徴とする請求項４記載の情報転送方法。
【請求項６】　上記所定の転送プロトコルはＡＴＡＰＩプロトコルであり、上記記録媒体に備えられた補助記憶手段は記録媒体カートリッジに取り付けられた不揮発メモリ（ＭＩＣ）であり、上記リセット指示コマンドはハードウエアリセットコマンドであり、
上記リセット指示コマンドを発行した後に上記記録媒体に備えられた補助記憶手段に対する書き込み／読出し情報を転送することを特徴とする請求項４記載の情報転送方法。
【請求項７】　所定の転送プロトコルに応じて動作する駆動手段に配されたリムーバブルな記録媒体及び当該記録媒体に備えられた補助記憶手段に対する書き込み／読み出し情報を転送する情報転送装置において、
上記所定の転送プロトコルに基づいたコマンドを発行することによって上記駆動手段の動作を制御する制御手段と、
上記制御手段が使用する記憶手段とを有し、
上記制御手段は、上記駆動手段に対して、上記補助記憶手段に記憶されている情報の読み出し機能を有効にする読出有効設定コマンドを上記所定の転送プロトコルに基づいて発行し、上記情報記憶手段から読み出された情報を上記記憶手段に記憶させ、上記記憶手段に記憶させた情報を維持したまま上記駆動手段の動作のリセットを指示するリセット指示コマンドを上記所定の転送プロトコルに基づいて発行する
ことを特徴とする情報転送装置。
【請求項８】　上記制御手段は、上記駆動手段と外部装置との間でデータの転送を行っている場合には、上記データ転送を停止させ、上記駆動手段と自己とを結ぶ経路を設定した後、上記リセット指示コマンドを発行することを特徴とする請求項７記載の情報転送装置。
【請求項９】　上記駆動手段と外部装置との間のデータ転送の実行を中止する実行中止手段と、上記駆動手段と外部装置との間のデータ転送経路と上記駆動手段と制御手段との間の経路を上記制御手段からの制御に応じて切り替え可能な切替手段とを少なくとも有するデータ転送コントロール手段を設け、
上記制御手段は、上記実行中止手段に対して上記駆動手段と外部装置との間のデータ転送の実行中止を要求する実行中止要求コマンドを上記所定の転送プロトコルに基づいて発行し、上記データ転送の停止後に上記切替手段を制御して上記経路を上記駆動手段と自己とを結ぶ経路側に切り替え設定し、上記経路の設定後に上記データ転送コントロール手段を介して上記駆動手段に上記リセット指示コマンドを発行することを特徴とする請求項８記載の情報転送装置。
【請求項１０】　上記所定の転送プロトコルはＡＴＡＰＩプロトコルであり、上記記録媒体に備えられた補助記憶手段は記録媒体カートリッジに取り付けられた不揮発メモリ（ＭＩＣ）であり、上記リセット指示コマンドはソフトウエアリセットコマンドであることを特徴とする請求項７記載の情報転送装置。
【請求項１１】　所定の転送プロトコルに応じて動作する駆動手段に配されたリムーバブルな記録媒体及び当該記録媒体に備えられた補助記憶手段に対する書き込み／読み出し情報を転送する情報転送装置において、
所定の転送プロトコルに基づいたコマンドを発行することによって上記駆動手段の動作を制御する制御手段と、
上記制御手段が使用する記憶手段とを有し、
上記制御手段は、上記駆動手段に対して、上記補助記憶手段に記憶されている情報の読み出し機能を有効にする読出有効設定コマンドを上記所定の転送プロトコルに基づいて発行し、上記情報記憶手段から読み出された情報を上記記憶手段に記憶させ、上記記憶手段

に記憶させた情報を破棄すると共に上記駆動手段の動作のリセットを指示するリセット指示コマンドを上記所定の転送プロトコルに基づいて発行する
ことを特徴とする情報転送装置。
【請求項１２】　上記制御手段は、上記駆動手段と外部装置との間でデータの転送を行っている場合には、上記データ転送を停止させ、上記駆動手段と自己とを結ぶ経路を設定した後、上記リセット指示コマンドを発行することを特徴とする請求項１１記載の情報転送装置。
【請求項１３】　上記駆動手段と外部装置との間の信号線上でのデータ転送をリセットするリセット手段と、上記駆動手段と外部装置との間のデータ転送経路と上記駆動手段と制御手段との間の経路を上記制御手段からの制御に応じて切り替え可能な切替手段とを少なくとも有するデータ転送コントロール手段を設け、
上記制御手段は、上記リセット手段に対して上記駆動手段と外部装置との間の信号線上でのデータ転送をリセットさせるリセット信号を送出し、上記データ転送の停止後に上記切替手段を制御して上記経路を上記駆動手段と自己とを結ぶ経路側に切り替え設定し、上記経路の設定後に上記データ転送コントロール手段を介して上記駆動手段に上記リセット指示コマンドを発行することを特徴とする請求項１２記載の情報転送装置。
【請求項１４】　上記所定の転送プロトコルはＡＴＡＰＩプロトコルであり、上記記録媒体に備えられた補助記憶手段は記録媒体カートリッジに取り付けられた不揮発メモリ（ＭＩＣ）であり、上記リセット指示コマンドはハードウエアリセットコマンドであり、
上記制御手段は上記リセット指示コマンドの後に上記記録媒体に備えられた補助記憶手段の情報を読出し制御することを特徴とする請求項１１記載の情報転送装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
そこで、本発明はこのような状況に鑑みてなされたものであり、リムーバブルな記録媒体に備えられた補助記憶手段（例えばＭＩＣ）に記憶される情報を、ＡＴＡＰＩプロトコルにより転送可能とし、さらに、システムのリセットをも可能とする、情報転送方法及び装置を提供することを目的とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
【課題を解決するための手段】
本発明の情報転送方法は、所定の転送プロトコルに応じて動作する駆動手段に配されたリムーバブルな記録媒体及び当該記録媒体に備えられた補助記憶手段に対する書き込み／読み出し情報を転送する際の情報転送方法において、上記駆動手段に対して、上記補助記憶手段に記憶されている情報の読み出し機能を有効にする読出有効設定コマンドを上記所定の転送プロトコルに基づいて発行し、上記情報記憶手段から読み出された情報を保持し、上記保持した情報を維持したまま、上記駆動手段に対して、当該駆動手段の動作のリセットを指示するリセット指示コマンドを上記所定の転送プロトコルに基づいて発行することにより、上述した課題を解決する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００１２】
また、本発明の情報転送方法は、所定の転送プロトコルに応じて動作する駆動手段に配されたリムーバブルな記録媒体及び当該記録媒体に備えられた補助記憶手段に対する書き込み／読み出し情報を転送する際の情報転送方法において、上記駆動手段に対して、上記補助記憶手段に記憶されている情報の読み出し機能を有効にする読出有効設定コマンドを上記所定の転送プロトコルに基づいて発行し、上記情報記憶手段から読み出された情報を保持し、上記保持した情報を破棄すると共に、上記駆動手段の動作のリセットを指示するリセット指示コマンドを上記所定の転送プロトコルに基づいて発行することにより、上述した課題を解決する。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
次に、本発明の情報転送装置は、所定の転送プロトコルに応じて動作する駆動手段に配されたリムーバブルな記録媒体及び当該記録媒体に備えられた補助記憶手段に対する書き込み／読み出し情報を転送する情報転送装置において、上記所定の転送プロトコルに基づいたコマンドを発行することによって上記駆動手段の動作を制御する制御手段と、上記制御手段が使用する記憶手段とを有し、上記制御手段は、上記駆動手段に対して、上記補助記憶手段に記憶されている情報の読み出し機能を有効にする読出有効設定コマンドを上記所定の転送プロトコルに基づいて発行し、上記情報記憶手段から読み出された情報を上記記憶手段に記憶させ、上記記憶手段に記憶させた情報を維持したまま上記駆動手段の動作のリセットを指示するリセット指示コマンドを上記所定の転送プロトコルに基づいて発行することにより、上述した課題を解決する。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
また、本発明の情報転送装置は、所定の転送プロトコルに応じて動作する駆動手段に配されたリムーバブルな記録媒体及び当該記録媒体に備えられた補助記憶手段に対する書き込み／読み出し情報を転送する情報転送装置において、所定の転送プロトコルに基づいたコマンドを発行することによって上記駆動手段の動作を制御する制御手段と、上記制御手段が使用する記憶手段とを有し、上記制御手段は、上記駆動手段に対して、上記補助記憶手段に記憶されている情報の読み出し機能を有効にする読出有効設定コマンドを上記所定の転送プロトコルに基づいて発行し、上記情報記憶手段から読み出された情報を上記記憶手段に記憶させ、上記記憶手段に記憶させた情報を破棄すると共に上記駆動手段の動作のリセットを指示するリセット指示コマンドを上記所定の転送プロトコルに基づいて発行することにより、上述した課題を解決する。